

令和6年度 東京都がん診療連携協議会活動状況

◆第17回 東京都がん診療連携協議会 開催

開催日	令和6年5月29日開催
出席	都道府県がん診療連携拠点病院 2施設、地域がん診療連携拠点病院 27施設、地域がん診療病院 1施設、東京都がん診療連携拠点病院 9施設、東京都がん診療連携協力病院 17施設 公益財団法人日本対がん協会、特定非営利活動法人血液患者コミュニティももの木、東京都保健医療局、東京都教育庁、その他関係機関等
議事	<ol style="list-style-type: none"> 講演「がん対策の目標と東京都がん診療連携協議会に期待される役割について」 国立研究開発法人国立がん研究センター がん対策情報センター本部 副本部長 若尾 文彦 講演「地域の医療機関と拠点病院との連携協力体制の構築における課題 - 拠点病院に期待すること -」 公益社団法人東京都医師会 理事 鳥居 明 講演「東京都がん診療連携協議会の効果を最大化するために」 東京大学大学院 医学系研究科公衆衛生学分野 教授 東 尚弘 「東京都がん対策推進計画（三次改訂）」について 東京都保健医療局 医療政策部医療政策課 肝がん・重度肝硬変治療研究促進事業の制度改正について（情報提供） 東京都保健医療局 保健政策部疾病対策課 がん検診の要精密検査者に係る精密検査結果の報告について（情報提供） 東京都保健医療局 保健政策部健康推進課 学校におけるがん教育の外部講師派遣の協力等について 東京都教育庁 地域教育支援部義務教育課 東京都がん診療連携協議会 各専門部会報告 ①評価・改善部会 ②緩和ケア部会 ③研修部会 ④がん登録部会 ⑤クリティカルパス部会 ⑥相談・情報部会

◆東京都がん診療連携協議会 専門部会開催

部会名	活動内容
評価・改善部会	第25回 評価・改善部会 令和6年7月9日開催 <ol style="list-style-type: none"> 講演「がんサポーターシップケアを全ての都民に届けるために」 東京慈恵会医科大学附属病院 腫瘍センター センター長 宇和川 匡 BCP ワーキンググループの活動について QI ワーキンググループの活動について QI 指標に関する意見（アイデア）募集について 東京都 QI（仮称）2022年症例収集について
	第26回 評価・改善部会 令和7年3月19日開催 <ol style="list-style-type: none"> 各専門部会 PDCA サイクル活動報告 BCP ワーキンググループの活動について QI ワーキンググループの活動について、東京都 QI へ指標の集計と共有に向けて 小児がんの長期フォローアップを行う体制について 講演①「小児がん長期フォローアップの現状」 地方独立行政法人東京都立病院機構東京都立小児総合医療センター 血液・腫瘍科 部長 湯坐 有希 講演②「小児・AYA世代がん経験者の長期的健康管理を考える」 国立研究開発法人国立国際医療研究センター病院 がん総合診療センター センター長／乳腺・腫瘍内科 診療科長 清水 千佳子 令和7年度 東京都がん診療連携協議会専門部会委員等推薦書 兼 変更届の提出について
	第3回 QI ワーキンググループ会議 令和6年6月27日開催 <ol style="list-style-type: none"> これまでのまとめと今後の展望 データの収集の仕方（国がんへの提出とその手順について） どんな QI が必要か（字義どおりのこれまでの QI、役割分担などに資する指標）
	第4回 QI ワーキンググループ会議 令和6年10月8日開催 <ol style="list-style-type: none"> 整備指針に求められる医療機関における役割分担の整理・明確化（ア〜ケ）について ・ QI 指標に関する御意見（アイデア）募集結果と今後の進め方 ・ 東京都がんポータルサイトへ掲載する現況報告からの抽出データ（案） がん支持療法に係る今後の取組について ・ がんポータルサイトへのがん支持療法、がん支持医療に関する情報の掲載

	<p>3) 移行期支援に係る今後の取組について 4) 東京都 QI (仮称) 2022 年症例の収集について</p> <p>第 5 回 QI ワーキンググループ会議 令和 6 年 12 月 3 日開催</p> <p>1) 整備指針に求められる医療機関における役割分担の整理・明確化 (ア～ケ) について ・QI 指標に関する御意見 (アイデア) 募集結果に係る指標計算について</p> <p>第 6 回 QI ワーキンググループ会議 令和 7 年 3 月 4 日開催</p> <p>1) 整備指針に求められる医療機関における役割分担の整理・明確化 (ア～ケ) について ①東京都 QI 指標 ②イ 集約化することにより予後の改善が見込まれる手術療法について ③カ 小児がんの長期フォローアップを行う体制について</p> <hr/> <p>第 2 回 BCP ワーキンググループ会議 令和 6 年 7 月 2 日開催</p> <p>1) BCP ワーキンググループの活動について</p> <p>第 3 回 BCP ワーキンググループ会議 令和 6 年 10 月 31 日開催</p> <p>1) 「自然災害時のがん診療継続に関する課題」アンケート調査の集計結果 2) フェーズごとのがん診療における課題アンケート分析結果</p> <p>第 4 回 BCP ワーキンググループ会議 令和 7 年 2 月 10 日開催</p> <p>1) 令和 6 年度 BCP ワーキンググループ 活動状況 2) フェーズごとのがん診療における災害対応に関する課題アンケート分析結果を踏まえての課題と提言について 3) BCP ワーキンググループの今後の活動方針について</p>
<p>緩和ケア部会</p>	<p>第 1 回 緩和ケア部会 令和 6 年 7 月 5 日開催</p> <p>1) 東京都における地域連携について ①東邦大学医療センター大森病院での地域連携 東邦大学医療センター大森病院 緩和ケアセンター センター長 中村 陽一 ②永寿総合病院での地域連携 公益財団法人ライフ・エクステンション研究所付属永寿総合病院 緩和ケア内科部長／がん診療支援・緩和ケアセンター センター長 廣橋 猛 ③東京都立多摩南部地域病院での地域連携 地方独立行政法人東京都立病院機構東京都立多摩南部地域病院 緩和ケア科 部長 奥山 隆二 ④ディスカッション 2) 東京都がん対策推進計画 (第三次改定) について 東京都保健医療局 医療政策部医療政策課 3) 連絡事項 ・東京都緩和ケア連携手帳について (東京都がん診療連携協議会での報告) ・緩和ケア部会ワーキンググループ員について (新規／変更) ・緩和ケア部会メーリングリストについて ・神経ブロック等の提供・連携について (共有データの更新) 4) 次回開催日の決定</p> <p>第 2 回 緩和ケア部会 令和 7 年 2 月 28 日開催</p> <p>1) がん緩和ケアにおける地域連携 ～現状と課題～ ①医療法人社団白愛会みなとフォームケアクリニック 院長 首藤 真理子 ②一般社団法人あかり訪問看護ステーション 代表理事／所長 中江 志穂 ③ディスカッション 2) 東京都におけるがん等の診療に携わる医師等に対する緩和ケア研修会開催について 3) 都道府県がん診療連携拠点病院連絡協議会 第 12 回 緩和ケア部会について 4) 連絡事項 ・緩和ケア部会アンケートの回答について ・緩和ケア部会メーリングリストについて ・東京都緩和ケア研修会 (多職種) について 5) 次年度第 1 回開催日の決定</p> <p>緩和ケア研修会</p> <p>1) 医師等：開催回数 60 回 修了者数 1,514 名 (累計修了者数 24,047 名) 2) 多職種：開催回数 3 回 修了者数 32 名 (累計修了者数 217 名)</p>
<p>研修部会</p>	<p>第 16 回 研修部会 令和 6 年 3 月 28 日開催</p> <p>1) 2024 年度 各種研修会開催実績の報告及び 2025 年度各種研修会の方向性について ① 2024 年度 がん医療従事者研修会 開催実績 ② 各研修小委員会報告 (医師 (腫瘍医)、医師 (がんの薬物療法)、薬剤師、看護師、診療放射線技師) 2) PDCA サイクルの取組について</p> <p>がん医療従事者研修会</p> <p>1) 医師 (放射線腫瘍医)：令和 7 年 3 月 8 日 WEB 開催 (109 名受講)</p>

	<p>2) 医師（薬物療法）：令和6年3月21日 WEB開催（120名受講）</p> <p>3) 薬剤師：令和6年6月8日 ハイブリッド開催（353名受講）、令和6年11月9日 ハイブリッド開催（361名受講）、令和7年2月9日 ハイブリッド開催（313名受講）</p> <p>4) 看護師：令和6年12月12日 WEB開催（302名受講）</p> <p>5) 診療放射線技師：令和6年2月7日～3月7日 オンデマンド配信（283名受講）</p> <p>6) 多職種合同研修会：未開催</p>
がん登録部会	<p>第17回 がん登録部会 令和7年2月19日開催</p> <p>1) 令和6年度 がん登録部会におけるPDCAサイクルについて</p> <p>2) がん登録部会実務者連絡会の活動報告について</p> <p>①令和6年度 がん登録部会実務者連絡会 開催状況</p> <p>②令和6年度 東京都院内がん登録実務者勉強会及び研修会 開催報告</p> <p>③令和7年度 東京都院内がん登録実務者勉強会及び研修会 開催予定</p> <p>3) 指針に求められる「院内がん登録実施に係る機能」の自施設評価について</p> <p>①令和6年度 指針に求められる「院内がん登録実施に係る機能」の自施設評価 集計結果</p> <p>②令和7年度 自施設評価票 改訂案</p> <p>4) 院内がん登録2022年症例データ集計結果及び分析について</p> <p>5) 東京都がんポータルサイトへの院内がん登録データ掲載について</p> <p>6) 東京都がん登録アドバイザーの推薦について</p> <p>7) 講演「がん登録の動向、がん登録データの利活用、拠点病院に求められること」 国立研究開発法人国立がん研究センター がん対策研究所 がん登録センター センター長 松田 智大</p> <p>8) 講演「患者の立場からがん登録への期待」 一般社団法人グループネクサスジャパン 理事長 天野 慎介</p>
	<p>第25回 実務者連絡会 令和6年6月28日開催</p> <p>1) 令和6年度 都道府県がん診療連携拠点病院連絡協議会 第1回がん登録部会の報告</p> <p>1) 令和6年度 がん登録部会におけるPDCAサイクルについて</p> <p>2) 講演「登録の先をみるー愛媛県がん登録専門部会の活動紹介ー」 四国がんセンター 臨床研究センター がん予防疫学研究部 臨床疫学研究室 山下 夏美</p> <p>3) 講演「東京都がん診療連携協議会の効果を最大化する院内がん登録・データ」 東京大学大学院 医学系研究科公衆衛生学分野 教授 東 尚弘</p> <p>4) 施設におけるがん登録業務紹介 ・東京医科大学病院 ・国際医療福祉大学三田病院</p> <p>5) 院内がん登録2022年症例データ集計結果及び分析について</p> <p>6) 指針に求められる「院内がん登録実施に係る機能」の自施設評価の実施について</p> <p>7) 令和6年度 東京都院内がん登録実務者勉強会及び研修会について</p>
	<p>第26回 実務者連絡会 令和7年1月23日開催</p> <p>1) 令和6年度 がん登録部会におけるPDCAサイクルについて</p> <p>2) 予後情報提出のための全国がん登録情報提供及び届出データについて 東京都がん登録室 業務統括者</p> <p>3) 東京都院内がん登録実務者勉強会及び研修会について</p> <p>①令和6年度 東京都院内がん登録実務者勉強会及び研修会 開催報告</p> <p>②令和7年度 東京都院内がん登録実務者勉強会及び研修会 開催予定</p> <p>4) 東京都がん登録アドバイザーの推薦について</p> <p>5) 指針に求められる「院内がん登録実施に係る機能」の自施設評価について</p> <p>①令和6年度 指針に求められる「院内がん登録実施に係る機能」の自施設評価 集計結果</p> <p>②令和7年度 自施設評価票 改訂案</p> <p>6) 院内がん登録データの東京都がんポータルサイトへの掲載について</p> <p>7) 施設におけるがん登録業務紹介 ・市立青梅総合医療センター ・東京都済生会中央病院</p> <p>8) 講演「院内がん登録データ活用とQI」 東京大学大学院 医学系研究科公衆衛生学分野 教授 東 尚弘</p>
	<p>東京都院内がん登録実務者勉強会 令和6年8月30日開催（27名受講） 内容「①解剖学全般、胃がん・大腸がん・肝がんの病期分類の演習問題、②乳がん・肺がんの演習問題の解説」 東京都がん登録アドバイザー</p> <p>東京都院内がん登録実務者研修会（Aコース） 令和6年10月4日開催（75名受講） テーマ「①がん登録概論・がん概論（講義）、②病理診断書（講義）、③TNM概論（講義）、④TNMの臓器別（講義）」 独立行政法人国立病院機構四国がんセンター 病理科 医長／臨床研究センター がん予防・疫学研究部 部長 寺本 典弘</p> <p>東京都院内がん登録実務者研修会（Bコース） 令和6年11月11日開催（81名受講）</p>

	<p>テーマ「①乳がん病期分類（講義）、②乳がん病期分類（事前配布演習問題解説）」 国立研究開発法人国立がん研究センター がん対策研究所 がん登録センター 院内がん登録室 江森 佳子</p> <p>東京都院内がん登録実務者研修会（Cコース） 令和6年12月7日開催（93名受講） テーマ「①骨軟部腫瘍の病期分類（骨・軟部組織・消化管間質腫瘍（GIST））（講義）、②骨軟部腫瘍の病期分類（骨・軟部組織・消化管間質腫瘍（GIST））（事前配布演習問題解説）」 国立研究開発法人国立がん研究センター がん対策研究所 がん登録センター 院内がん登録室 江森 佳子</p>
クリティカルパス部会	<p>第8回 クリティカルパス部会 令和7年2月28日開催</p> <p>1) 令和6年度 クリティカルパス部会及び連携促進委員会におけるPDCAサイクルについて 2) 地域連携クリティカルパス「東京都医療連携手帳」及び「東京都緩和ケア連携手帳」の発行状況について（令和5年4月～令和6年9月）</p> <p>第22回 連携促進委員会 令和6年11月22日開催</p> <p>1) 令和6年度 クリティカルパス部会及び連携促進委員会におけるPDCAサイクルについて 2) 地域連携クリティカルパス「東京都医療連携手帳」及び「東京都緩和ケア連携手帳」の発行状況調査について（令和5年4月～令和6年9月）</p>
相談・情報部会	<p>第14回 相談・情報部会 令和7年3月6日開催</p> <p>1) 講演「ピアサポートに関する国の動向について、ピアサポートの必要性、拠点病院に求められる役割について」 国立研究開発法人国立がん研究センター がん対策情報センター本部 副本部長 若尾 文彦</p> <p>2) 講演「拠点病院におけるピアサポート活動に期待すること ～患者・その家族の立場から～」 認定NPO法人希望の会 理事長 轟 浩美</p> <p>3) 東京都がんピアサポーター養成研修について</p> <p>4) 令和6年度 相談・情報部会におけるPDCAサイクルについて</p> <p>5) 令和6年度 相談・情報部会担当者連絡会 活動報告</p> <p>6) 令和7年度 相談・情報部会 担当者連絡会チーム委員の募集について</p> <p>7) がん相談支援センターPDCA実施状況チェックリスト2023年作成版（全国部会作成版）の実施について ・がん相談支援センターPDCA実施状況チェックリスト2023年作成版（全国部会作成版）調査の結果 ・がん相談支援センターの業務内容に関する相談者からのフィードバックに係る調査の結果</p> <p>8) 令和7年度 相談・情報メーリングリスト《東京みつばち》への登録について</p> <hr/> <p>第39回 担当者連絡会 令和6年6月20日開催</p> <p>1) 都道府県がん診療連携拠点病院連絡協議会 第22回情報提供・相談支援部会報告</p> <p>2) 令和6年度 相談・情報部会におけるPDCAサイクルについて</p> <p>3) がん相談支援センターに求められる機能の自己評価について</p> <p>4) 令和6年度 相談・情報部会担当者連絡会チーム活動について</p> <p>5) 意思決定支援の課題と工夫について ①講演「がん医療のコミュニケーションと意思決定支援」 地方独立行政法人東京都立病院機構東京都立駒込病院 精神腫瘍科 部長 秋月 伸哉 ②グループディスカッション</p> <p>6) 整備指針に求められる相談者からのフィードバックを得る体制について ①自己評価票チームの取組 ②講演「PDCAチェックリストの見方・考え方について」 公立大学法人静岡社会健康医学大学院大学 社会健康医学研究科 教授／健康管理・政策学領域長 高山 智子 ③グループディスカッション</p> <p>第40回 担当者連絡会 令和6年10月22日開催</p> <p>1) 東京都保健医療局 医療政策部医療政策課がん対策担当からの情報提供 ・東京都がんポータルサイトのリニューアルについて ・がんの診断直後等の退職防止のための広報動画について ・若年がん患者在宅療養支援事業について</p> <p>2) 東京都がんピアサポーター養成研修事業について</p> <p>3) 講演「がんピアサポートとは」 一般社団法人日本サイコoncロジー学会 代表理事／東京都立駒込病院 精神腫瘍科・メンタルクリニック 部長 秋月 伸哉</p> <p>4) 講演「患者からのメッセージ」 がんネットワーク東京 池谷 光江</p> <p>5) がん相談支援センターPDCA実施状況チェックリスト2023年作成版（全国部会作成版）の実施について ・がん相談支援センターPDCA実施状況チェックリスト2023年作成版（全国部会作成版）調査の結果 ・がん相談支援センターの業務内容に関する相談者からのフィードバックに係る調査の結果 ・がん相談支援センター業務マニュアル改訂第3版に関するアンケート調査の結果 ・グループディスカッション 「がん相談支援センターPDCA実施状況チェックリスト2023年作成版を実施してみたの感想と課題」</p>

第 41 回 担当者連絡会 令和 7 年 2 月 7 日開催

- 1) 令和 6 年度 相談・情報部会における PDCA サイクルについて
- 2) 都道府県がん診療連携拠点病院連絡協議会 第 23 回情報提供・相談支援部会報告
- 3) 令和 6 年度 東京都がんピアサポーター養成研修事業について
- 4) 令和 6 年度 相談・情報部会担当者連絡会 各チーム PDCA サイクル報告及び活動報告
 - ①がん相談支援センター自己評価票の実施に伴う改善の取組－（相談支援検討（自己評価票）チーム）
 - ・『がん相談支援センター自己評価票』の項目 31「病院管理者やがん相談支援センター管理者は、がん相談支援センターで提供された支援に対する利用者からのフィードバックを得るための体制を整備している。」に関して、各施設の取組活性化を支援すること、また、整備指針に求められる『相談者からフィードバックを得る体制』について、今後の調査に有用な共通の質問項目を検討し、提案することを目標に活動を行った。
 - ・主な取組としては、「利用者の必要なタイミングに応える」取組を提案したこと、国や都の目標・管理者項目設定の背景を整理し、評価実施時の評価方法の例や留意点を文書にまとめ、提案した。
 - ②東京都がん相談支援センター業務マニュアルの利用促進の取組－（マニュアル（相談支援検討）チーム）
 - ・マニュアルの活用状況に係るアンケートを実施、分析し、次年度の課題を抽出した。ほとんどの施設が紙媒体の業務マニュアル（主に QR コード（リソース参照））を活用していること、電子版マニュアルは冊子を開く方が手早いことなどを理由に半数以上が活用していないことがわかった。自施設での連携先をマニュアル内に書き込める項目欄があると活用拡大に繋がる可能性がある。また、新人教育で使用している施設は 3 施設で、今後、活用のイメージを固めることが課題。
 - ・一部リンク先の不備が発覚し、事務局から訂正について周知した。
 - ③がん相談支援センター認知度向上を目的とした図書館連携－（相談支援検討（図書館連携）チーム）
 - ・一般市民が自由に利用できる図書館を通じて、医療・がんなどの情報支援、啓発活動、がん相談支援センターの認知度向上を目的に、東京都立中央図書館と協働し活動を行った。パスファインダー作成の協力を行った。
 - ・チーム委員と東京都立中央図書館スタッフが企画・運営し、講演会「がんになったら、仕事どうする？」を主催。また、『人生に向き合う』ブックリスト、がん相談支援センター紹介ポスター、がん情報冊子等の配布・展示イベントを同時開催した。参加者アンケートからも満足度の高い結果となった。
 - ・講演会「がんになったら、仕事どうする？」
開催日：令和 6 年 11 月 27 日(水) 会場：東京都立中央図書館 参加者：11 名
講演：(1)「相談事例から考える治療と仕事の両立支援について」
社会保険労務士オフィス・ソメヤ 代表 染谷 由美
(2)「がん相談支援センターのご紹介」
(3)「健康・医療情報サービスのご紹介」
 - ④患者会やピアサポーターと協働した患者サロンの活性化を目指す－（患者サロン推進サポート（相談支援検討）チーム）
 - ・患者サロンの実施状況（再開の有無、患者会やピアサポーターとの協働）などの情報共有をすること、ピアサポーターの育成を理解することを主な活動とし、アンケート分析、東京都がんピアサポーター養成研修へのファシリテーター及び見学者参加を行った。
 - ・次年度以降も東京都がんピアサポーター養成研修に携わっていくことが望まれる。さらに研修を修了したピアサポーターの活躍の場を、どのように調整するか？が課題となる。
 - ⑤AYA 世代支援ネットワーク構築への取組－（AYA 世代チームネットワーク構築（相談支援検討）チーム）
 - ・がん相談実務者同士の AYA 世代患者・家族支援の情報交換、関係医療機関との連携推進、AYA 世代の特徴と東京都の地域性を知り、多様なニーズに適切に対応可能な体制・取組の充実を目標に活動を実施。
 - ・AYA 世代支援勉強会「びよびよの会」を定期的に開催。
第 8 回：令和 6 年 8 月 30 日(金) 参加者 34 名
講演「相談員が知っておきたい AYA 世代のアピアランス（外見）ケア」
第 9 回：令和 6 年 11 月 22 日(金) 参加者 29 名
講演「AYA 世代がんと性 相談員が知っておくこと」
第 10 回：令和 7 年 1 月 24 日(金) 参加者 20 名
講演「がん治療と生殖医療の相談対応で知っておくこと」
 - ⑥東京都がん相談員研修会の開催（東京都相談員研修企画・運営チーム）
 - ・新整備指針におけるがん相談の現状と課題を共有し、がん相談の充実を図ること、がん専門相談員同士が繋がりを認識し、さらなる連携を図ることをねらいとして、診断早期のがんサバイバーシップの理解を深め、対応の困難さを共有できるよう企画、開催した。
 - ・第 13 回東京都がん相談員研修会（クローバー研修）※都道府県主催がん専門相談員向け研修（Ⅲ群研修）
開催日：令和 6 年 11 月 30 日(土) 参加者：35 名
テーマ：「診断早期におけるがん相談員の対応と難しさ ～このようなときどうしてますか？他の相談員と一緒に考えてみよう！～」
 - ⑦4 都県合同地域相談支援フォーラムの開催（地域相談支援フォーラム実行委員会）
 - ・令和 6 年度、神奈川県が主催。4 都県合同で組織された地域相談支援フォーラム実行委員会を主体に企画、運営を行い開催した。
 - ・4 都県合同地域相談支援フォーラム in 東京・埼玉・千葉・神奈川 ※都道府県主催がん専門相談員向け研修（Ⅲ群研修）
開催日：令和 6 年 11 月 9 日(土) 参加者 73 名
テーマ：「超高齢化時代のがん治療～ 相談員として高齢者のがん治療にどう向き合うか～」

- 講 議： ①「高齢者のがん治療における意思決定支援を含む機能評価と地域連携について」
島根大学医学部付属病院 津端 由香利
- ②「高齢者のがん治療を支える相談支援～生活課題に着目して～」
講師：北里大学病院 市川 賀一
- ③「高齢者のがん治療期における在宅診療支援について～訪問看護の立場から～」
講師：いきいき訪問看護ステーション保土ヶ谷 大島 美代子

・令和7年度は東京都が主催となる。開催日程は、令和7年11月8日(土)予定。

・地域相談支援フォーラム実行委員会運営要綱(案)

- 5) 令和7年度 相談・情報部会担当者連絡会 チーム活動について
- 6) 令和7年度 相談・情報メーリングリスト《東京みつばち》への登録について